

第27回防災まちづくり大賞受賞団体の決定

消防庁国民保護・防災部地域防災室

「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、今回で27回目を迎えました。地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

今回は全国各地から73事例の応募があり、学識経験者等で構成される選定会議において、他の地域の模範となる優れた17事例が選定されました。

受賞事例数

応募総数		73
表彰区分	総務大臣賞	3
	消防庁長官賞	5
	日本防火・防災協会長賞	9
受賞事例総数		17



防災まちづくり大賞シンボルマーク

災害による被害を軽減するためには、地域の防災力を強化すること、とりわけ地域

の方々の「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い意識と連帯感に支えられた自主的な防災活動を推進していただくことが重要です。

平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、住民、自主防災組織、消防団、地方公共団体、国等の多様な主体が、相互に連携協力して、地域防災力を高めていくことの重要性が示されました。

受賞団体の皆様には、今回の受賞を契機として、より一層日頃からの活動を充実・発展させ、引き続き、地域防災力の向上にご尽力いただくことを期待しています。

<総務大臣賞受賞事例の紹介>

今回、総務大臣賞を受賞された3事例の取組を紹介します。

- 団体名：NPO法人ふるさと未来創造堂
- 事例名：新潟県長岡市における持続可能な防災教育体制の構築
～「御用聞き」がつなく、学校・地域・家庭の防災教育～
- 所在地：新潟県長岡市

【団体概要】

防災・教育・まちづくり等の関係者を中心とした構成員相互の協力と資源の相互活用を通じて、生まれ育った地域を知り、故郷への深い郷土愛と災害から生き抜く力を育み、自分の生き方を考える学習機会として、学校を核としたわくわくする防災教育の推進を支援・強化する事業に取り組み、

学校、地域、家庭の皆で子どもを育む地域一体での教育社会の創造と自然と共生する人づくり・まちづくりの実現を目指しています。

【背景】

新潟県は平成27年2月全県の小・中学校等に新潟県防災教育プログラムを配布しました。一方、学校現場は、多忙化の解消が喫緊の課題であり、プログラムの更新が現場に負担を与えました。

長岡市では市民協働の枠組みから生まれた防災教育を学校だけに委ねるのではなく、学校と地域との連携・協働で次世代へ経験をつなぎ、地域の防災力も向上させる提案が一部実装され、持続可能な防災教育支援体制の構築が必要でした。

【取組の内容】

(1) 防災教材の設置

行政の防災部局と教育部局とが連携し、毎年更新する教材「長岡市防災玉手箱」を公立の全小・中学校に設置

(2) 総合相談窓口の設置

総合相談窓口の設置（相談・資料提供や貸出・講師の派遣・地域や外部とのコーディネート・地域資源調査・広報誌発行・ホームページ等での情報発信等）

(3) 「御用聞き」による学校訪問

「御用聞き（学校所在地域に詳しい方や防災士等）」による資料の差し替えを兼ねた毎年の学校訪問と防災学習支援等

(4) 防災学習支援者の育成

「御用聞き」及びサポーター（防災学習支援者）の育成

【成果】

(1) 防災学習の増加

実践的な防災学習を年次計画に位置付けたり、避難訓練前後に学習を組み込んだりする学校数が増加しました。

(2) 防災学習の継続

中学校区に配置した「御用聞き」による毎年の学校訪問が窓口相談につながり、担当職員の転出等による学校単位の継続性を持続する機能も果たしています。

(3) 防災士の取得

学校との関わりから「御用聞き」の考え方や行動にも変化が見られ、訓練拡充の必要性を強く訴えていた防災士は、学校と対話の重要性に気付き、元PTA役員の女性は防災士の資格を自ら取得しました。

(4) 人材育成

地域人材の発掘と育成にも取り組み、現在50名弱の方と活動を展開しています。



「御用聞き」等と実施する防災教育の支援活動

■団体名：小矢部市障害者団体連絡協議会

■事例名：地域に根ざす共生社会づくりを活かした障害者と健常者が共に学び共に行う防災訓練

■所在地：富山県小矢部市

【団体概要】

平成27年に「小矢部市障害者団体連絡協議会」を設立し、これまでの身体・視覚・聴覚・知的・精神・発達障害の6つの障害者団体が連携して活動することになりました。設立時参加届出会員数総数は180名です。

【背景】

平成28年に「障害差別解消に関する法律」及び「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」が施行されました。それを機に防災訓練への参加について検討が始まり、県の防災訓練が行われる際に小矢部市障害者団体連絡協議会が防災訓練に参加しました。その防災訓練を契機に毎年継続して参加・実施することとなりました。

【取組の内容】

障害の種類や個人差等で救助の際の接し方、避難誘導方法が異なるため、障害者の方に聞き取りをして、接し方・避難誘導方法の良い方法と良くない方法及びその理由等を障害の種類（4種・視覚・聴覚・車椅子・知的・精神・発達障害児）に分けた「障害の種類別対応方法」を作成しました。防災訓練をスムーズに行うため、事前にリハーサルを行い障害者だけでなく、行政、関係機関も参加してもらいました。

令和3年からは「誰でも参加自ら体験」をテーマに気軽に参加できる防災訓練を開催しました。「防災疑似体験」「備蓄食試食体験」「防災グッズ展示」「避難所体験」の4つのブースを設け、防災疑似体験では健常者が視覚障害や聴覚障害、車いす移動を体験し段差のある坂で障害者を誘導するノウハウを学べるようにしました。

【成果】

障害者と健常者がただ訓練に参加するだけでなく、共に関わり合うことにより実災害時に必要とされる対応を理解できました。行政と障害者団体（民間）が話し合いながら共同で取り組んだことで共生の地域づくりに一歩進むことができました。

また、声かけにより参加された女性団体、自主防災会、自治振興会、長寿会、各

種団体と連携が広がりました。高校生も参加して、みんなで楽しく確かな絆を実感し、不安が安心となり、継続することにより「自助」「共助」「公助」が浸透し、人と人との連携が減災につながっていると実感しました。



視覚障害者の避難誘導

■団体名：落合学区自主防災会連合会

■事例名：甚大な災害を経験した地域が、災害経験を糧に新たに取り組み始めた自主防災組織の活動内容

■所在地：広島県広島市

【団体概要】

広島市は、昭和60年代から自主防災組織を結成する目標を掲げ指導してきました。当落合小学校区内の15自治会・町内会も「落合学区自主防災会連合会」を設立しました。平成26年8月に発生した「広島豪雨災害」は、地域のつながりの希薄化が浮き彫りとなり、多数の犠牲者が発生しました。さらに避難所の運営・被災者の復興復旧に手間取った事例が多数あり、自主防災会は「自分たちの町は自分たちで守る」をスローガンに掲げ、地域の住民組織と事業所が連携し、地域住民のまとまりである自主防災組織が主体となった活動を進めることとしました。

【背景】

平成26年8月20日発生した「広島豪雨災害」を契機として、当地区から災害による犠牲者、特に関連死をゼロにしたいとの思いから、現在の連合会長を中心として、これまで9年間落合学区の各種団体や主な事業所（JA広島落合支店・エディオン高陽店・なごみの郷）などと連携し、安全で安心な地域を作るため活動してきました。

【取組の内容】

(1) 防災委員会の編成

自主防災会は、基本的に「防災士」の資格取得者を中心とした組織とした。現在では「防災士」14名、女性6名、学生5名。更に、町内会自治会へ防災活動に興味のある方を募集し組織を再編しました。

(2) 「キッズ防災士」の養成

小学4年生から6年生に対し、公民館や子ども会などを通じて学習を実施しています。

(3) 「安否確認システム」の導入

落合学区の防災活動・福祉活動を自主防災会連合会が主体となり進めることとなりました。自治会連合会と協議して、「安否確認システム」を学区全体に導入し、災害時の避難者名簿の作成、避難者が避難所を出入りする際の確認が素早くできることや災害弱者への要支援者の確認や支援者が駆け付けるための指示が本部からするなどを組織的に行っています。

(4) 応援協定の締結

地域の中心部を流れる落合川の南北にそれぞれ避難所を設けることとし、北側の中規模商業施設と南側の「JA広島落合支店」を緊急時の「逃げ込み施設」として応援協定を締結しました。

【成果】

落合学区自主防災会の活動が充実する

と近隣の自主防災会から、「共同でやろう」とか「資料が欲しい」などと連携したいとの要望意見が寄せられ、学区だけでなくもっと広い地域での防災活動が始まりました。



落合小学校防災教育（防災工作）

＜第27回防災まちづくり大賞受賞団体＞

＜総務大臣賞受賞団体＞

- ・NPO法人ふるさと未来創造堂(新潟県長岡市)
- ・小矢部市障害者団体連絡協議会(富山県小矢部市)
- ・落合学区自主防災会連合会(広島県広島市)

＜消防庁長官賞受賞団体＞

- ・立町マイスクール児童館(宮城県仙台市)
- ・仏生寺地域づくり協議会(富山県水見市)
- ・一般社団法人中部地域づくり協会(愛知県名古屋)
- ・福崎町消防団・福崎町立田原小学校(兵庫県福崎町)
- ・自治会自主防災会・臨海企業連絡会(和歌山県海南市)

＜日本防火・防災協会会長賞受賞団体＞

- ・歯舞漁業協同組合(北海道根室市)
- ・中央大学杉並高等学校(東京都杉並区)
- ・横浜橋通商店街、株式会社野毛印刷社、横浜市消防局南消防署(神奈川県横浜市)
- ・一般社団法人愛知県建設業協会(愛知県名古屋市)
- ・津本地区 自主防災会(三重県紀宝町)
- ・こが久我・こが久我の杜・もり羽束師地域まちづくり協議会 防災部会(京都府京都市)
- ・大阪経済法科大学学生消防隊SAFETY(大阪府八尾市)
- ・三原市防災ネットワーク(広島県三原市)
- ・ほろいあらお防災人の会(熊本県荒尾市)

「防災まちづくり大賞」ホームページにおいて第27回防災まちづくり大賞受賞団体の活動内容が掲載された事例集を4月中旬頃に掲載予定です。

■問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災室
TEL: 03-5253-7561